



## ささきしおり Shiori Sasaki

2013年より作曲家として活動を開始し、2018年にはアジア音楽祭台湾大会 ACL 青年作曲賞日本代表に選出。同年、ドローイングを演奏行為とみなして行う「ドローイング サウンド パフォーマンス/描線の音楽」を提唱し様々な活動を展開。2019年愛知県芸術劇場主催「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム 2019」公募アーティストとして出演。2021年より京都芸術大学通信制大学院、青木芳昭ラボにて絵画技法材料学に基づく研究制作を開始。ユボ紙を貼った「ユボドラム」に(株)呉竹よりグラファイトの提供を受けることで実現する新しい表現を確立し、同年12月、長野県中川村の「人工知能美学芸術展」にて新作を発表した。